類題草鄙集

春上

特別
イ 4
3163
30(1)

貴
14
3163
30(1)

以後世にうたの規矩となるべき歌をもとめ
たまへるなるべしいまこの集をもて
世にあらはすこれのみならずあるべきうた
をもとめ数おほくみゆるまでに皆こゝに載
せらるべきまことにうたのうたなるべき
後永代にあらはすべきこゝろをもてこれ
古今六帖のたぐひのものにあらずこれ
歌ゑらばれたるのうたひとあんまた什
物ゑらばれたるのたぐひの大和にのみあるものを
殊更ゑらばれたるまことに我国
の

小田氏圖書
藤原家圖書

乃ちのり興あるところを書せるに歌をもさ
ゝるるもおもしろかるべきまゝにふみたゝ
なるやうにいふ人もたのまれて仮名
しるしつるをもてをこの記にあせるをこれ
ハこれやうにめたしらるゝ男文字成なるゝを
なるいとゝもおほゆるをいふ
あるなるべし法代の東つゝ大法國ふみもて
やうゝまゝあれもゝいかゝ言のみちを
さこのよおもおもしの分みなのしもおし

なるをもゝ記もまゝ唐言をのみ乃みつゝ
るゝとゝ歌ゝ法ゝ法ゝの歌のゝ
ふしのまゝ言ゝの言ゝふるゝの記男文
言ゝなるゝ歌まゝ急て言のよ言ゝ陳
あるゝ二百二百記は面ゝ高ゝとゝこの世
ゝ法ゝハまるをみるよ光源氏物語ゝ
源明月入花灌頂とゝ歌をこのゝ
要ゝめをゝ紀ゝ歌のゝ歌をゝ
あつまゝてゝゝゝゝ男文言ゝ

[illegible]
しの白氏文集[illegible]
[illegible]
[illegible]

なるべき事須おそふ所百まき
のうち所もれること侍れひろうてふるてて
名をあらはす人々の歌の集ともおほく又累葉集
藻塩草集藻塩草の和撰ゆゑ抜よさ意を
るべ数あれどもそれ人々ゆゑ言をことの記あく わ
このうち所もれたるのつあてあ稀く洩れてあるまあ
をいとのく物しらひてれ元のたつきともなれば
きれとてつひよのくく十二巻の書成ぶらひさ
くめられあるゆゑ名をこのことの歌いる

小さのく歌の数よりつるあらく所もれて名づて
ているゆゑ和言のこと集のこと草聖と
もおなつられあるよ所ふやんとれき事のくくの
をそはうあくのゆゑおのとれ人られ
のるあ成のつめく撰ふあるくくるて文代とんよ
おくのすとゆあてあるれもよあれおて
て又所とのくくまるくるる序の弟子自さのあ
清めをくるをたるあんるる
さ清のゆ清の涙雪くあ

影なりけるものの面白きを見て
学び取るとも取るべきあらぬ事の
歌とて古人の世にのみあるとて
あらぬ人の影とてすらんはいかにて
はつかなるあらんうつしたるさまも
乃至の形をうつしたるはいかなる
事にあるべきにかあらんとて
とゝまるあらんうつしたるなるふ
面白きをとゝまるべきの程を世の影をうつす

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

凡例

一 此集は歌学の初心なるものの為に撰び出せるものにして
しかれども居れつゝ人のこゝろをなつかしくぬる
ふるまとまふたらしのおもしろくこのこゝろを数詠して
四季六部恋雜六巻とし各二巻とす初学
の徒仮名まじりの書をよろこびあるものをたらしめ爾人の
志ふかくして先四季六巻を板に起せる也恋雜を
追て出すべし
一 この巻は人々の家集の会なるものの板に起るよりえ
らびいでゝ又写おきて行るをもとめ出おのゝ抜

よくあるひきあるいて集中よりいくぬきのせるもの
俳諸のつゐてハえいつるたのせるこハ時代よりかたち
はいてなせり
一 あるこ俳例あり之歌なるもの一歌より歌の次四季の
きさきさきさるこ言のうたをたくなりて歌のうちをあか
くせんとてあり
一 かれあるくるてよめるも其言の歌より来りて其言のうの
あくるをハのをは
一 その歌とてよるぬ歌ありともかの歌よりの多をるをハか
の歌の言のようなり又画賛なるの言のようなる歌詠よりの孔
多るをハ為せるれハお集とそ歌あるるとのるくしうん

くうたのふとなるれ
一 おれくの言ようてくるをハ四とをるて一歌をて四
しくのうこ言のせたるこの言
一 公るれ歌をハうれ事のて公くはたるまて初学の為
うこ言事の事ををるむようあるれハおの言
一 名所の歌をて四季ようあるるをハ春ようにをる入
るの言

春上 題数六百二十六歌 哥数八百四十九首

春下 題数六百三十一歌 哥数八百九十首

夏 題数七百十二歌 哥数千百八十二首

秋上 題数六百十題 哥数九百十四首

秋下　題数七百十題
　　哥数千八十六首

冬　題数八百二十五歌
　　哥数千百二十二首

總計四季部　題数四千十四歌
　　哥数六千四十五首

文化十四年六月

木村定良識

年内立春　元日　元日雪　元日鶯　元日立春
山家元日　元日富　為水　門松　春風来海上
春流東来　老幾迎春　幽栖春来　春風春水一時来　春色人之中
雪中春来　春松久孫　松迎春新　春色笑陰中　梅柳度江春
春浦心長静　無心春色　立春　除日立春　立春日
立春天　立春雲　立春雪　立春雨中立春
立春風　立春霞　立春湖　立春月　立春江
立春湖　立春池　立春晩　立春谷　立春川
立春水　立春氷　立春山　立春関　春立春
禁中立春　海辺立春　浦立春　故郷立春　閑中立春
名所立春　所々立春　立春祝　初春　初春雪

初春霞　初春山　初春海　初春初春　壁初春
初春河　初春水　初春梅　初春鶯　初春衣
初春眺望　初春見鶯　初春祝道　早春　早春胡
早春雨　早春雲　早春雪　早春風　早春霧
早春月　早春月　早春市　早春海　早春河
早春山　早春閣　早春松　早春水　早春鶯
早春梅　早春柳　早春松　早春陽亭　早春興
海邊早春　早春　早春水　早春興　早春水
腹赤浪贊　藥兒　春水　春風吹春水　春水解
氷解　春氷　春風吹春氷　氷消田地
池氷春開　雪消氷亦春　春氷春氷來　鶯音知春　鶯響滿春風
和風報春　風光日々新　元日子日　子日　子日
正月子日　子日松　雪中子日　子日友　子日小松
山子日　壁子日　霞中子日　子日興　山居子日
子日偶興　子日祝言　子日逍遥　子日　子日逍遥
鶯霞　鶯知春　春曙霞　夕霞　春曙霞
山霞　深山霞　遠山霞　胡山霞　雪山霞
嶺霞　嶺上霞　霞海山　霞海山　霞海山樹
霞添山色　霞紫雲山　霞海山色　霞海山樹　墨霞
杜霞　壁霞　岡霞　壁霞　原霞
原上霞　岡霞　行路霞　壁霞　夏霞
霧中霞　名所霞　霞海古寺　秋霞　夏霞
霞海古寺　秋霞　夏霞

水郷霞　蘆洲夕雁　遠村春　海春　海色霞
海上夕春　濁春　蘆洲霞　海浦　海上春
鳴霞　孤島春　霞洲行舟　江春　江上春
春江春　湖霞　渚上春　渚上新春　河春
河上春　渡春　橋上霞　橋上春　松上春
春洲松　霞洲壹村　霞洲壹樹　春来色　色峯等晚春
鷺　待春　南枝暖鳥　春遲　春来雪色
初雪　早春　早梅春　初雪　河雪
無新雪　雪知春　山雪告春　古巢雪
谷雪　鷺出谷　雪中春　雪井雪群　雪井
西湖雪　春中雪　霞裏雪　雪　暖雪

春上目録三

春風雪　新雪　故郷雪　山雪
山家雪　壁雪　夕鷺　壁夕雪　岡雪
旅中雪　霧井雪　海色雪　湖雪
園池雪　河皇雪　水皇雪　深中雪
窗鷺　樹間雪　梅間雪　名所雪
雪鳴梅　竹雪　竹林雪　竹間雪
柳上雪　花間雪　松上雪　老雪
雪春夜　雪夜春夜　春情雪　雪呼春
雪群鶴別来雪下雪夜鶴群　春夜雪　春雪　雪洗梅
春雪菜多　摘春菜　新春菜　夕春雪
西中春菜　雪中春菜　雪中春菜　暖春菜
春雪菜　春菜

破芽梅　岡芽梅　線芽梅　圃芽梅　水芽梅

田芽梅　名所芽梅　故郷芽梅　多年摘芽梅　武陵聲芽梅

寄芽梅　流芽梅　春雪梅　心春雪　聲春雪

末春雪　雪似花　雪消松緑　雪消殘　殘雪

聲殘雪　雖殘雪　草殘雪　木殘雪　松殘雪

心殘雪　歳殘雪　歳殘雪　樹陰殘雪

殘雪似花　心家殘雪　殘雪半開梅　二月雪落花

餘寒　餘寒氷　餘寒月　餘寒雪

餘寒風　心餘寒　二月餘寒　梅　梅及家花

栽梅　栽梅待鶯　梅始開　梅始開　梅花末久

梅開嘉時　春風先吹中梅　梅盛　梅花末久　雪中梅

梅似雪　雨中梅　梅蕾　梅風　梅蕾沒

依風知梅　梅蕾風　梅花風靡　梅香　梅花久咲

梅花遠蕾　梅花蕾風　梅香何方　梅花夜蕾　梅蕾袖

梅迎衣香　梅香梅袖　梅香留袖　梅花深衣　梅蕾枕

梅香入室　梅花夜芳　夜思梅　眠梅　窗夜梅

咲梅　遅梅　夕梅　月前梅

月照梅花　社頭梅花　古宮梅　古宅梅花　雨夜梅

故郷梅　遠村梅　山居梅　心家梅花　心家皆梅花

蕾似梅　梅香南蕾　梅香蕾笠蕾　蕾鶯梅　夜梅

高梅　高梅　垣梅　籬梅　園梅

星梅　清梅　聲宿梅　聲宿梅　行路梅

旅宿梅

梅花香々　壁梅　梅花落水　名所梅　梅花落水
雪色梅　水時梅花　見梅　河色梅
每春咲梅　梅交松芳　折梅　折梅送人
梅花　梅花藪万香　色梅　梅の色遠
二月梅　落梅　庭落梅　深庭落梅
雪色落梅　梅花落琴上　落梅浮水　落梅風
紅梅　梅浮水　紅梅白梅香ふ　紅梅
高梅懷旧　白井紅梅　紅白梅香ふ風　梅花
梅　梅花香ふ　梅の孫枝　梅花
柳　夕梅　梅の古枝　雨中梅
梅の花　梅の古木　梅の花　高日梅
梅の花の　梅の高木　梅の花　梅の花の
梅の花　梅の高木　梅の花　梅の花の
梅の花　梅の高木　梅の花　梅の花の
梅の花

山巖　岩巖　越後巖　打巖濱人　春月
鵜月　夕春月　春曙　春月
春曙月　春月　嘉月　嘉月　山春月
海邊春月　浦春月　嘉月　江春月　河春月
波春月　夏春月　旅春月　旅海春月
水の春月　遠樹春月　春雨春月　春の志　月入花澤暗
春江花月夜

長崎文庫

草野集巻一

春部上

年内立春

ゆくとしのなごりのあかつきの夢のうちのはるたのゆるしてのちはきぬらん　契沖
おりしもとものせはしきはるのあけぬるかとおもふ夜はのうちのはるたち　牧直
あらむのしよふくしふあらむの手のとまりのまつかぜ　多義
氣水とりたくしふあらむの手のとまりのまつかぜ　春郷
さしてたるよとるもぬ手とにそかさて秋の秋ふ春しつる　菅尾
ゆくとしのこのしのゆのきとくしふ人なよ先の春の前　芝渕
春柳のいとしく世よ春てもたふふる春八めつてしきの孔　多義
むかしたつくふふ柳とかさしつと多ふ春ふ花よくふ春　春海
春ふふ柳はの春しふ春のこ春とふふちとふふ春　保孝
あらむのしのをふく春たのてよふ人ふ春の春のさぬふ春む　春満
ふさはしも庭のふそのそつかふしつもぬ春よ春ふふふ春　古道
ゆさなのふふ春ふ春たふふ春のおもかくみをて春はきふふ春　春海
若風よふのこ春さくさふ春のおもかくみをて春はきふふ春　契沖

元日

元日雪

元日鶯

かゝるこゝろの中のとしとしなれこそ　多義

元日立春　むさしぬとゝ嘉つゝあれるゝ氣ゝ仁生きの上ゝ生ゝ日の活物なる　高洲

むゝ月たゝゝ生をはめるゝゝみゝゝむる生れ日数八生ゝ仁あゝ生ゝ　葵生

あゝむのゝゝとのゝゝ示教むひのゝゝ仁生ゝ生ゝ生ゝ生ゝ生ゝ生ゝ生ゝ　壹庵

山家元日　山さゝ仁おのゝゝゝゝゝる門の松ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　松直

元日富　第代のゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　多義

第水　第日ゝ仁生ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　春海

門松　やゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　契沖

春風業海上　二月沼ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　多義

春流東来　ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　松直

岸綫迎春　此國ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　壹庵

邑柳春来　ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　千蔭

春風春水一時来　ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　春沖

春生人言中　多春沖のゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　高洲

ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　松直

ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　壹庵

ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　多義

雪中春来　ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　春沖

春松久緑　松のゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　多義

松迎春彩　いゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　松直

春到梅花中　梅の花ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　同

梅柳度江春　枝のゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　多義

雪消山色新　みなみゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　同

ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　古道

雪消山色新　ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　多義

毎山の春色　ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　春雨

立春　ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　春洲

はるの義なるとみとかくるもこれ神代の言葉にまるうれ　英樹
をもつこもの山ぶみ者とかたむやくさよりまるおのよくしし　士満
義なつむうひの景なるさりしるし辨してまたかきるれ　古今
人のよそみれたるのとしたのかりてるされぬ名行くるを　春満

除日立春　宣长
三日立春　同
立春天　同

立春雲　同
立春日　同

立春雪　同
白中立春　同
立春風　同

立春霞
立春曉
立春湖
立春江
立春池
立春谷
立春眺望
立春川
立春水

くもまいやのめるるつ時風枝をふくまてのとうりてふく春満
おろかとよるもの義とまるもの戸の四るるもてをかれ八なつ　同
氣象まるれ形とあるもてめてなつとかみたるまるきるの春満
山のそもかあるぬほとのかとみまて春八々よるもつみたにけり　契沖
ふるかてのなるてはくあるふるものたのれてやうく初まるの辨　宣长
やとるの氣戸やもとれにるるれまるれ牧ちまるれあくるく　契沖
氣かるかて見かあめるやるるるるるるの春ふるるるるるむ　春満
雜波江ふるるるるのあるひのるるるるるるのきるなるる　契沖
まるるの海もけさよるる氷解るめて春風まるる波るるえける　春満
波ふるるるるの春るるるるるるるるるるるるるるるるるるる　契沖
若風の氷とときるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
ふるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる　同
山のるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる　宣长
はるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる　契沖
まるるふけさるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる　春満

立春氷　古満
立春山　春海

立春関　契沖
都立春　春海
楚水立春　契沖
海辺立春　宣長
湖立春　古満
故郷立春　同
関中立春　契沖
名所立春　春海

春立春　契沖

立春祝　丈直
初春　契沖
春海

初春雪　古満
初春霞　契沖
初春山　春海

春上四

初春海　枝直
都初春　素海
野初春　多義
初春河　同
初春霞　素湖
初春梅　多義
初春鶯　枝直
初春衣　古道
初春眺望　紙堂
初春鶴　素海
初春祝道　古海

早春

早春朔　多義
早春雨　素湖
早春雲　素海
早春雪　枝直
早春風　同
早春霜　宣長
早春月　同
早春潮　春海

早春滝　枝直
早春海　宣长
早春河　春満

早春山

早春関　春満
早春市　春仲

早春水　湛水
早春雪　宣长
早春梅　春仲

早春松　枝直
早春柳　春満
早春関　春満
早春海　宣长

春山早春　枝直
野早春　春満

早春鶯　枝直
早春興　宣长
腹赤山鳥　春満
春水　宣长

あさの川みなもの[illegible]の表うつれさらゆれてそれなのしら波　契沖

春氷

氷ぬる　同

氷解

春氷　同

東風解氷

春風解氷

氷消四地

池氷を用

雪消氷亦釈

雪消春水来

氷音の春

鶯啼春風

和風報春

風光り氷

白馬節會

子日

元日ある日

岡やまつみゆるのあけぼの　千代海

門松のとゝ一ふれもあるよあるあるらん　契沖

いさらはらふもきこのん松いのんもらるゝふるもつみかるる　校直

むかつゝ一のきつゝの小松ふ雪ふれいきよ　ある

一巡ある日

ふる小松ふ雪ふれいきよ　千海

むかしをとゝ引のさ松ふ雪ふれいきよ　ある

むかしをとゝ引のさ松ふ雪ふれいきよ　千海

みゆさせ小壁のまゝ姫小松引しかこれ　千海

矣の世のある代の松ふ雪ふれいきよ　ある

松のひもとゝ引やゝ小松のもゝ松のみもゝ　千海

かゝのゝ小松のあるよこのゝ雪ふれいきよ　千海

雪ある

雪ある

雪ある

たのさこのをのくまちのうらめて高の山松のさ枝の勢隆　[illegible]
りふそひてさゝちこのめもさしそる高みつくはりみすゝの山　[illegible]
四里も山はかすみわたりゆくみゝあらてまはちのつおれたる　[illegible]
志賀山はゆきうちのゝこまやゝ海の高とそやゝくさはりける　[illegible]
あくるまとあれハ高ふきうちまはるなかふる高の山陽　宣老
いなを高かすみこめてむらるのゝ白きくむをうしてはゝ　[illegible]
山とるみいつるり氣とてうちもうらくうもみ行つる氣のをみの孔　[illegible]
あいきもるわさこうみくゝ高とゆくあちのよ　松亜
ふゝのゝのきさくまちのをみて高うめくる氣はくゝの孔　[illegible]
四うてハきゝしたつ高るゝ川の山のこめれよ高れれひく　[illegible]
ちる風の高ようるうあれよちひのあ山ゝとかさのまゆ久　[illegible]
あさみゝかゝみめてゝ川の山のあひわるゝハみせけるを　[illegible]
ちゝゝ高ハをゝうつ四ハゝ笹ゝさてゝゝてゝのゝゝさりゝ　[illegible]
ゝるるハたゝれ笹るの孤山のゝみのゝかくひまゝゝゝみる　[illegible]
ゝさハるゝ高ゝ笹のつくゝの山ゝれゝゝるも　松亜

勝高
高ちまち

春曙高
氣高

夕高
山高

深山高
高山高

氣山高
雪山高
岸高
嶺ゝ高
岸陽山
高氣山
嶺陽山
高流山

ちゝゝ山のさみ山のゝゝ山みのゝゝゝゝ高なりゝ　[illegible]
はゝゝたつゝ山れ若の川きゝ山ハ岸の氣りゝ如あみゝゝゝ氣　奥沖
ふゝさゝゝみるゝのゝゝ　飯波山ゝゝ山のゝゝみ　[illegible]
むゝゝのゝゝふゝさゝみゝハ松ゝゝゝゝるゝ高ゝれひく　松直
雪きゝゝてゝきゝくゝゝのゝゝのゝゝ山のゝゝゝのゝゝゝ　宣老
山ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　松直
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　高
氣高ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　奥沖
あゝゝゝ岸ゝゝれひくゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　[illegible]
いゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　同
永ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　松直
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　宣老
世ハゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　松直
ゝのゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　[illegible]
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　高

霞霞をこ山　をとめ子のうら髮山の山ゐる面をとらたてもかくれゐるの霞の　人麿
霞添春之　いつことも春の色のわかねはなれ　枝直
霞隔山樹　山ゐてはなれ山ふかくゆゑ霞のうちはみのまつ京　斐仲
里霞　あひくのやとやいくくれ竹のつみはとをとをみめくれ　孝満

杜霞　きとかれてなく雲の舟のくはちに角こてぬさる霞の孔　吉道
野霞　ゆくくもちくくしまかとひとひぬ海ふうをみの海くさの星　宣忠
壁外霞　枕ちのうあるもれく霞のとみやもれてむるやてもれもれ　孝麿
壁後霞　なのくるかあの壁くハはるとひてみもしくかくむ霞　宣忠
原霞　るのりるるをのとゆるるるこ山ちとんみくくこ霞の孔　同
京上霞　旅くまるれつみみといつる無ハ先さるくつあさかるみ　同
岡霞　小松ひきわの孔つみるさくハ霞のたるる高毛にの孔くん　枝直
旅くのいくのたるのくくも法しら仕かるむるるの孔　宣忠
霞風ハるくと牛のあるる第一かるみるこ山るあの一京　斐仲
霞霞たちのくあるきてみをハいたる物のこるれくるる　枝直
霞をのなくさの景ちくみのあくをとみるむる新霞代　斐仲

紡霞　あくみちもりのふ神ほのとかあむみやちのきそのくけき　孝海
絡霞　たそのれとそそもこのくちもれく霞るるもれ京孔　孝満
関紡霞　ゆるるきくれ神のみ坂ハあれれく霞るをこつあうこのせれ　孝海
澤中霞　あ紡やのきのあるる世ハ霞ひたるをとのことあてたつのくみ　宣忠
月不霞　をくのあれ霞をくをとをきくくくくくやをくれをくの心　孝満
　　ちあおくくみをくくくくく

遠村霞
海霞
海辺霞

海ゝ夕霞
浦霞

霞南浦
海霞
海ゝ霞

風まつ梅津のさとのうらなくかすむさくらの花 日
かすみわたるさまは海原よりもなほ霞のうらなくたゝ 藤原
なふさとのうらまつ梅のかすみの海ゝとみしや霞む物毎 摂津
めしはるゝかすみのうらのあさぼらけ 左満
むらさき潮ゝうらかすむ海ゝ海ゝうらかすむ 枝豆
あたいて四方のうみのうらかすむ 宮内
あたのうのいそ山つゝむあさぼらけ 藤原
わさだふ霞うゝ海ゝうらかすむ 左満
住の江の海の松風霞さえて 藤原
たゝみのうゝ海ゝ霞むなかの海ゝ 摂津
おとふきくゝ海ゝ田子の海や霞ハまさりたゝぬ海ゝ 宮内
もしほやくなかの海の八重霞 摂津
みちれさをあれてゝ霞ハたゝるゝ海ゝ 藤原
いのとのわたりてゝ入江の霞ハ 宮内
いせの海ゝ光せの海ゝ霞の霞ゝ海ゝ 日

霞
海霞
海ゝ霞
江霞
霞江霞
湖霞
湖ゝ霞
湖ゝ霞
河霞

たゝ海ゝとびなみのうらかすむ海ゝ海ゝ海ゝ海ゝ 藤原
ふなそとやくさやよみをもの海ゝ海ゝ 摂津
うゝのおゝ海ゝ海ゝ舟 枝豆
かれあしつのゝうみゆくゝ海ゝ海ゝ海ゝ 摂津
なふさとゝ海ゝのゝ海ゝ海ゝ海ゝ 春海
ゝ舟よる入江のゝ海ゝ海ゝ海ゝ 藤原
津のゝうゝ海ゝ海ゝ海ゝ海ゝ海ゝ 宮内
ゝちゝ入江のゝ海ゝ海ゝ海ゝ 藤原
みとゝ海のみゝ海ゝ海ゝ海ゝ 摂津
さゝ海ゝ海ゝ海ゝ海ゝ海ゝ 日
ゝ海のゝ海ゝ海ゝ海ゝ海ゝ 宮内
海ゝ海ゝ海ゝ海ゝ海ゝ海ゝ 藤原
ゝ海の海ゝ海ゝ海ゝ海ゝ海ゝ 摂津
海ゝ海ゝ山ゝ海ゝ海ゝ海ゝ 藤原
海ゝ海ゝ海ゝ海ゝ海ゝ海ゝ 摂津
海ゝ海ゝ海ゝ海ゝ海ゝ海ゝ 藤原

河ら雲　宮内卿
渡雲　藤原為尾
橋ら雲　藤原為海
柱ら雲　藤原為海
杉ら雲　藤原為尾
雲と海杉　藤原為海
霧流を杉　藤原為海
雲流を杉　藤原為海
雲と雲　宮内卿

遥峯帯晩霞　藤原為海
鶯　藤原為尾
待鶯　宮内卿
南枝吸鶯　藤原為尾
鶯を　藤原為海
春来鶯を　藤原為海
初鶯　藤原為海
早鶯　藤原為海

早鶯初聞

[illegible]

毎年初聞

[illegible]

鶯知春

[illegible]

山里春

[illegible]

古巣鶯

[illegible]

谷鶯

[illegible]

鶯出谷

[illegible]

雪中鶯

[illegible]

雪中鶯群

[illegible]

雪中鶯

[illegible]

雪後鶯

[illegible]

雪中鶯

[illegible]

素素周誉

囁誉

嘆誉

寝誉

胡誉

夕誉

心誉

為々誉

山家誉

壁誉

壁立誉

岡誉

里誉

旅中誉

羇中夕誉

海辺雪　同
禽鶯　同
社頃雪　同
園梅雪　同
河雪　同
山雪　同
岡中雪　同
家居雪　同
之雪　同
樹間雪　同
梅間雪　同

あるのみとやせさこめん雜俳諧に梅のえをしてしらひきて侍る
さとにあれはあるよりはるのの雪と民のこゝろのあるこゝろの孔
たちくきしけるさの梅よりしてえて枝のいさめぬこゝろひとなく
みつの孔の枝の枝よりあるさ一雪ときあくさ氣のふるはさ
あるのあれきるのらへを雪よ雪ふくゝ絵くるちきさのの雪
こゝろひきのこゝろと嘉ともゆきまゝはゆくくとそる雪枝ちそ
さゝ風と柳の枝よりなひくくゝゝゝるこゝろのそるこゝろひきの辭
沖のの名さよりみゆるほのあやゝ辭のあやゝこゝ孔ふひて
梅のくよゝるこゝひきこゝきめぬこゝゝみゝ竹枝ゝゝて加ゝる
きゝて雪きゝつくゝ雪ゝゝあゝのゝゝひこゝのちゝゝゝつゝ名ゝ水
世のの人ゝきゝるのゝきゝひゝやあゝのゝゝ雪ゝのくゝ数のゝゝひゝ
なゝ孔ゝゝゝ孔ゝゝゝ

花間鶯

梅と鶯

花鶯

鶯春友

鶯くまなき友

春情と鶯

去鶯ふる郷

鶯流水し梅

鶯群鶴引

鶯歌群

鶯有愛音

若菜

若菜初

若菜摘

若菜摘

若菜

若菜

たつまきのくふのまろのれをたちめまろ秋さことの数なつまなん　春海
西中為業　まろのようる小わの孔をつみかられて海るさてるもたて海さをてる　契沖
雪中為業　くるめはきくきゆをとハつみてまの秋をしわの孔のくらけりなり　同
海むことのかくみの為業くしに秋をさへをしとれ雪の海かくらん　萱尾
雪中菜為業　このれわくてみをとしまのくふのせやハんあてまくてつむへのりくる　春海
壁為業　くれくてこのいく田のくのいくく業おいさくくらあわのまつみて業　杉海
たくをとくれたまれて十のれかくてつれハつむくきくれくて海たくをの　萱尾
をのくるをぬかくもつみ為ハれ海みのわくれくるゆたてるて　契沖
十のれのくくもゆくんかくこのくくつひハたくてくをとれも　為蔭
為為おまるくをくよくも苦やらひてるくやく糸のせへの下狭　杉海
雪のくくるる物すくみつみてあなはれ為るかあのれく糸　宣長
為業　くるれよりくさの為なよりの業のわのめをかくてあやつむらん　契沖
為業　あくくこ素むくるくよなるくよくくをくのいくくちはむくん　大海
岡為業　このくをこのあのあさの糸のくるくるくく雪てるくく為ならふをくをくも　契沖
くくれくるのれつむくて星のくこのかくくの星ハ雪ものくくれ　宣長

為為業　為もを雪くく海むくもこのあたつのあさる沢ふあくけるふハ　春海
みのあせ壁沢よくてはく雪のくたつみつくくくりくくは　枝直
為つの為る沢雪のせやくくくつみていくくくのせくくくくくる武　契沖
園為業　くくちれそくくくくく

歌枕にある菜
高のゝ若菜
高いとの若菜は陸
春雪

山春雪
所々雪
木末雪
春雪似花
雪消松緑
春雪欲消
残雪

はつかにつみて[illegible]
[illegible]
多くとるのゝ[illegible]
[illegible]
梅のもゝ柳の枝[illegible]
[illegible]
風さえてなのゝ[illegible]
さかり姫の[illegible]
みこのゝもゝはの[illegible]
[illegible]
みよしの[illegible]
つくもの[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

巖残雪　契沖

高砂雪　春満

樹陰残雪　多満

残雪似花　同

山家残雪　枝直

残雪半分梅　多満

二月雪落花　同

餘寒　契沖

餘寒氷　宣長

餘寒雪　枝直

餘寒月　契沖

餘寒風　宣長

山風のいまだ冬なるをしたてきこえて
まとまをみよるもハみなそなる海やのこるら雪
まつせめの月てゆふぢ雪ちるなりとのもとよりかくれ
いさめよ梅のふるのちるまてゆふかこのうひよのこるう拾きこの歌
山家残雪　同
雪ふりて残雪　飯盛
残雪半分梅　枝直
二月雪落花　多満
餘寒氷　同
餘寒　契沖
餘寒雪　宣長
餘寒月　枝直
餘寒風　契沖
ゆれてるこふるこのうちのもの
ふてゆてハ雪ふ雪ふ
うしなもり雪ふ
まるれてふまとさむき風をよ
まさむみのくれたとハ
まさむみのくれたとハ

梅始開　家隆

梅開雪間　同

春風先發　藤中梅

梅雪　同

梅ふく春の雪　同

雪中梅　同

梅似雪　同

白中梅　同

素中梅　同

梅風　同

梅薫風　同

梅風に梅　同

梅薫風　同

梅花風　同

梅香　同

梅花久芳　同

梅ふく雪薫　同

梅薫風　同

春上二十

梅香何方　枝上人みな
梅ふる雪を　枝上
梅を袖　宗尾

梅を折香　宗尾
梅香袖　宗尾

梅香留袖　宗尾
梅花染衣　宗尾
梅を挿　宗尾

梅香入室　宗尾
梅花衣貫　奏沖
紫色梅　宣忠
夜梅　宣忠

南夜梅　宣忠
曙霞　宣忠
暁梅　宣忠

胡梅　宣忠
夕霞　宣忠

月前梅　宣忠

自照梅花　宣忠
枕頭梅花　宣忠

古宮梅　　枝直
古宅梅　　爽沖
閑庭梅　　豊尾
故郷梅　　李海

遠村雪　　宣光
山居梅

山家梅雪　　多義
山家留梅花

籬外雪　　宣光
梅書留籬
梅香籬雪籬
籬端雪　　多義

庭梅　　枝直
窓梅　　同
窓前梅　　多義
垣梅　　宣光
籬梅
園梅
星梅

清梅　　李海

旅宿梅　　爽沖
壁宿梅　　豊尾
月梅雪　　多義
梅花雪　　宣光

角の梅を見るにつけて人ほのぼのとあけぬる春の夢ぞ
いとゞ面影にたつ心地する時のみやまの梅の花
むらしめあたてはつてくさきぬ
ふかきぬやとくさと梅のこゝろ
ちりぬるのかをれさて
ちりぬるのかをれさて
なつかしやゆかしさとのあるまゝにくみやむかしれぬ梅のうるはしき
きつものやさとのこゝろのあるやとこゝろの人のあめのうるはしき
うめのふるはきこゝろ
心さとのうめのえてのさひ
咲しよりのひとあくうめの
みやこのうとみとみ心里をつゝむ梅のうとむしなる
むしれよりそれきの梅のうるはしきの
やはらぬのかとちよりうめのかをれ
うめのかをさくはの梅
花の梅のうるはしきの

春上二十二

野梅　宣長

松間梅　奏仲

名所梅　本居

梅花絡み

水辺梅　同

月明梅　同

海辺梅　同

河辺梅　同

見梅　同

毎年咲梅　同

梅交松芳　同

梅改梅　同

折梅

折梅猶人　奏仲

数梅花　宣長

梅不変方春　同

雪梅　同

梅の雪連　同

梅花待春　同

二月梅　同

花梅　同

夏花梅

同夏花梅　同

落梅風　同

ふる花梅　同

毒浮水

梅花落琴上

落毒浮水

紅梅

白梅生

白中紅毒

梅紅白

白梅白梅

香ふる

風搖白梅朶

高梅懷河

柳

柳羅生

柳糸垂新

柳花

糸柳

夕柳

柳絮

古柳

白中柳

柳細布　柳ほそぬの
柳露　柳露
霞石柳　柳芝家係
柳絲洗風　柳風
柳風　柳絲風
柳就風　柳絲風

閑居柳　門柳
門柳　門柳老久
柳毛絲　心家柳
故郷柳　柳つ柳
水色柳

春上二十五

江柳

河之柳

河堤柳

河堤長柳

河岸柳

池堤柳

柳陰池

毛柳陰池

意柳岸水

岸柳

柳樹陰池

柳浦水

柳影映水

岸柳

江柳

浦柳

墻柳

墻柳笛吹

引柳

遠柳

柳糸

柳枝

敷柳

高柳遠眺

釣子稽者

春日祭

若草

[illegible] 自寛

[illegible] 同

[illegible] 宣長

[illegible] 同

[illegible] 校直

[illegible] 宣長

[illegible] 同

[illegible] 校直

[illegible] 宣長

[illegible] 同

[illegible] 校直

里歌　土御門
野歌　藤原為家
岡歌　藤原為家
山歌　藤原為家
谷歌　藤原為家
梅歌　藤原為家
朽歌　藤原為家
春月　藤原為家

朧月

夕春月　藤原為家
春曙月　藤原為家
曙又春月　藤原為家
春月曙歌　藤原為家
春月歌　藤原為家
嶽中月　藤原為家
家陰月　藤原為家
山春月　藤原為家

海辺春月　　[illegible]

浦春月　　[illegible]

磯春月　　[illegible]

江春月　　[illegible]

河春月　　[illegible]

渡春月　　[illegible]

関春月　　[illegible]

旅春月　　[illegible]

故郷春月　　[illegible]

旅海春月　　[illegible]

春月　　[illegible]

遠樹春月　　[illegible]

名所春月　　[illegible]

春月江志　　[illegible]

月会雲離晴　　[illegible]

春江夜月　　[illegible]